

# 平成 26 年度 予算施策評価表

様式1

施策名	えひめ国体・障害者スポーツ大会への着実な対応	予算施策コード	kj11
担当部局名	えひめ国体推進局	国体総務企画課	評価責任者 課長 清水 貞之
		連絡先	5470

## 1 施策の内容

施策の目標	県民総参加のもと、簡素な中にも夢や感動を実感できるえひめ国体・障害者スポーツ大会を目指し、開催準備に計画的に取り組む。
-------	---

これまでの取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成17年度に、国体開催の推進母体となる第72回国民体育大会愛媛県準備委員会を設立。開催基本方針策定。</li> <li>・平成17年度から、国体に必要な資金の一部に充てるための国体募金(ひめっこ募金)活動を推進。</li> <li>・平成18年度に、県準備委員会の中に、常任委員会及び総務、施設、競技の各専門委員会を設置</li> <li>・平成18年度から、競技会場の選定に取り組む。(25年度末までに、38競技、全競技の会場地が決定)</li> <li>・平成20年度から、国体開催競技の体験・交流を行う「国体開催地市町スポーツ振興事業」を実施。(平成23年度まで)</li> <li>・平成22年度、県準備委員会に、広報・県民運動専門委員会を設置し、広報基本方針・広報基本計画を策定。</li> <li>・平成22年度から、国体に必要な審判員及び運営員を確保するため、「競技役員等養成事業」を実施。(平成29年度まで)</li> <li>・平成23年度、県準備委員会に、宿泊・衛生、輸送・交通の各専門委員会を設置し、各基本方針を策定。</li> <li>・平成23年度、国体開催基本構想の策定、中央競技団体による会場視察、国体マスコット基本デザインの決定等を実施。</li> <li>・平成24年度に、国体開催が内定、えひめ国体の愛称・スローガンが決定、積極的な広報活動等を実施。</li> <li>・平成25年度に、第17回全国障害者スポーツ大会愛媛県準備委員会を設立。</li> <li>・平成25年度に、県外開催3競技の会場地内定、イメージソングの決定</li> </ul>
----------	--

## 成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A 開催準備総合計画における各年度に達成した項目数	B 競技役員等延べ養成(資格取得)累積人数
選択理由	<p>両大会の開催準備にあたっては、開催準備総合計画を策定して、各年度毎に実施する項目を挙げている。各年度に達成した項目を成果指標とすることによって、開催準備の進捗状況を把握する。</p>
算定方法	達成した項目数
成果と指標の関係	中
指標の種類	フロー
選択理由	<p>国体の各競技会の運営を円滑に運営するためには、中央競技団体が認定する資格を有する審判員及び運営員の確保が必要であるため。</p>
算定方法	各競技団体から提出される実績報告に基づき算出
成果と指標の関係	強
指標の種類	ストック

## 指標・事業費の推移

区分	成果指標A			成果指標B			事業費			
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算	国費	その他	県費
単位	項目数		%	人		%	千円			
24年度				543	543	31.0%	4,531,464	1,754,932	11,163	2,765,369
25年度				790	798	45.6%	6,273,477	1,735,077	32,783	4,505,617
26年度	39		実績無	1,170		実績無	3,411,880	2,579,614	16,731	815,535
27年度 目標値	44			1,550						
最終目標	56			1,750						

## 2 施策の評価

県の関与の必要性	高い	説明	えひめ国体は、日本体育協会、文部科学省及び開催地の都道府県が共同して開催する、スポーツ基本法に規定された国内最大のスポーツの祭典であり、スポーツの振興のみならず、県民の元気創造、地域経済の振興や本県の認知度が向上するなど、地域の発展にも大いに寄与することが期待される。 また、障害者スポーツ大会は、障害のある選手が競技等を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的に開催される国内最大の障害者スポーツの祭典であり、両大会とも、開催に向けた諸準備を計画的かつ着実に推進する必要があり、県の関与の必要性は極めて高い。
成果指標A		説明	<p>○成果動向:平成25年度までは会場の内定競技数を成果指標としていたが、目標を達成したため、平成26年度から両大会の開催準備総合計画において各年度に達成した項目数を目標数とする。</p> <p>○成果向上余地:特段のコメントなし</p>
成果動向		説明	
成果向上余地		説明	
成果指標B	順調・向上	説明	<p>○成果動向:審査会受講人数の減に伴う資格取得者の減</p> <p>○成果向上余地:各競技団体のヒアリング等を通じ、競技役員等養成計画を適宜見直しながら、えひめ国体が開催される平成29年までには、必要な競技役員等を養成する。</p>
成果動向		説明	
成果向上余地	ある程度向上可能	説明	
参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向		<p>— この欄は、成果動向評価後に表示されます。</p> <p>成果向上余地 0.00 ほとんどない</p>

今後予測される環境変化	えひめ国体・障害者スポーツ大会が近づくにつれて、広報活動や県民運動の推進、宿泊や衛生関係、輸送・交通関係、市町の会場施設整備、リハーサル大会・本大会運営の補助、式典関係等、開催準備業務が本格化、具体化する。
-------------	---

